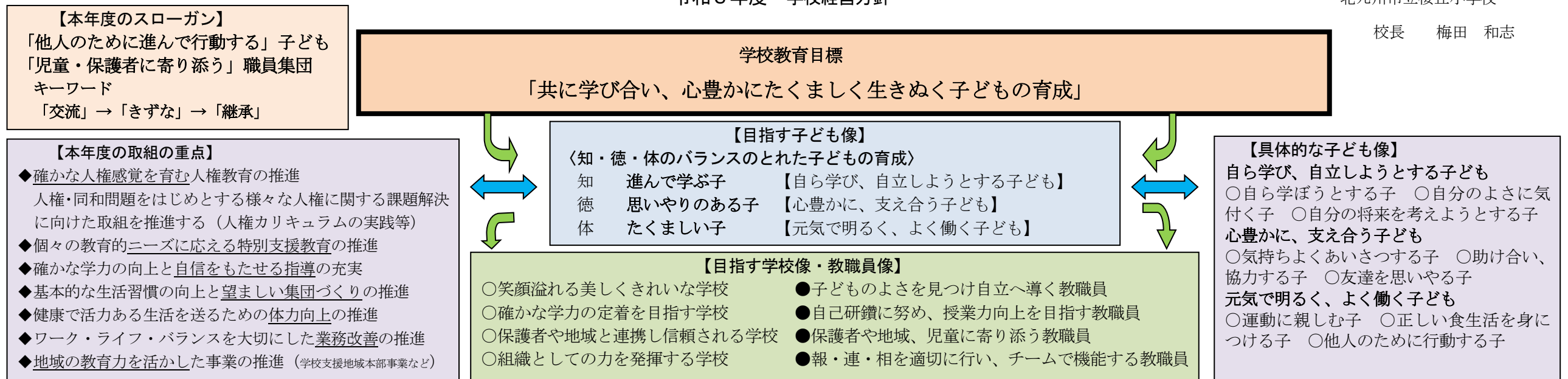




「学校教育目標」具現化に向けての具体的方策 ⇒ 大切にしたい3つの要素 I「学力」（伸びようとする力） II「規律」（心地よい居場所） III「自己肯定感」（自信）

Ⅰ「学力」【学力向上に向けた職員のチームづくり】

- ① 主題研究の推進（特別活動の研究推進・望ましい人間関係）
- ② 社会の変化に対応する資質や能力の育成（外国語活動、情報処理、道徳科の実施、主体的・対話的で深い学びの育成）
- ③ 合理的配慮を含めた特別支援教育の充実（ケース会議の実施等）
- ③ 職員研修の充実（OJT）
- ④ 連携・協働を意識した持ち合い授業の推進
- ⑥ 学習機会の拡充と学習内容の定着（意欲的に取り組む家庭学習の工夫）
- ⑦ 言語活動の充実、学び合う授業の創造（はなす・かく）

Ⅱ「規律」【規律ある学校生活づくり】

- ① 子どもの居場所づくり（担任、学年主任、生徒指導主任、養護教諭、管理職等による組織的な連携と取組）
- ② 生徒指導の充実（共通理解と同一対応、早期発見と早期対応、危機管理意識の高揚と問題事象への緊急対応）
- ③ 学校のきまり、学びの約束の徹底（あいさつ、言葉づかい等）
- ④ 子どもの自治力の育成（縦割り活動・フロアリーダー等）
- ⑤ 職員の危機管理意識の高揚（不祥事防止、体罰、飲酒運転、ハラスメント等 安全対策 不審者対応、自然災害等）
- ⑥ 地域の教育資源や教育力の有効活用（学校支援地域本部事業）

Ⅲ「自己肯定感」【自己目標達成の環境づくり】

- ① 支持的風土に支えられた学級づくり（学級集団づくり）
・人権意識に支えられた互いのよさを認め合う学習活動の充実
・目標の設定（短・中・長期）話し合い、振り返り、認める
- ② 地域と連携する学校（学習参観、開放週間、学校評価等）
- ③ 家庭と連携する学校（学級懇談会やPTA活動等への協力）
- ④ 「チーム学校」としての組織的な取組（スクールカウンセラー、SSW、子ども総合センター等）
- ⑤ 情報の発信（学校HP、学校だより、学年・学級だより 家庭訪問等）

＜道徳＞

- 「違いを認め・考え・実践力を身に付ける道徳」の授業を推進する
- 自立心・自律性・自尊感情を育てる指導の充実（励まし、認める評価）

＜教科指導＞

- 基礎的・基本的な内容の習得と活用力の育成（書く、話す等）
- 生きる力の基盤となる「言語活動」の充実と学び合いの基盤づくり

＜特別活動＞

- 学級活動の充実（学級会を通しての自治的な実践と自己決定の重視）

＜外国語活動・外国語科＞

- 学習指導要領の目標を踏まえた体験と実践意欲を育む

＜総合的な学習の時間＞

- 桜丘小学校のプランを模索し、探究的な学習に取り組む

＜健康教育＞

- 発達段階に応じた系統的な健康・発育指導と日常の健康観察の徹底
- 健康教育の視点から各教科との関連を図る

＜食育＞

- 給食指導、学級活動を中心に学年に応じた食習慣の形成

＜生徒指導＞ 問題行動の早期発見と早期対応を基盤に

- 関連機関との連携及び、いじめ・不登校対応（毎週の生徒指導報告会）
- 教育相談の充実（管理職、学年主任、担任と保護者）

＜人権教育＞ 児童支援加配教員を中心に、全教育活動の中で行う

- 学校や地域の実態をふまえ人権感覚を育てる
- 人権・同和問題の正しい認識と実践力に向けた職員研修・指導内容の工夫

＜特別支援教育＞ 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援

- 特別支援学級と連携し、適切な指導・支援を図る
- 校内支援体制の充実と情報の共有化、関係機関との連携

＜安全・防災教育＞

- 様々な災害を想定し、災害発生時の適切な行動がとれる児童の育成

＜キャリア教育＞

- 大人との出会い・交流を通して、自分の将来を考える指導の工夫

＜学校図書館教育＞

- 学習センター、情報センターとしての環境整備

＜環境教育＞

- 地域を愛し自主的に参画する態度の育成

＜情報教育＞

- 情報活用能力の育成
- 情報モラルの指導の徹底（SNS対応等）
- ICT機器を活用した指導の工夫

＜国際理解教育＞

- 自文化の理解と異文化の尊重を目的とした体験的な活動の充実

＜福祉教育＞

- 生命を尊重し、他人を思いやる心を育む
- 様々な立場の人と共に生きる態度を育む

「チーム桜丘」として大切にしたいこと！ ○風通しの良い職場（「情報・連絡・相談・報告」等） ○来校者・保護者への対応（温かく寄り添う姿勢） ○温かい電話対応「桜丘小の〇〇です」
○慎重な遅刻・欠席・ケガ対応 ○協働を意識した確実な事務処理・提出期限の厳守 ○守秘義務 ○不祥事ゼロ ○児童を学年・全教職員で「育てる」 ○教職員間の温かい協調・感謝 等